

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	自治会の解散に伴い、非常災害時における地域との連携が不十分である。 また、夜勤専門の職員が在籍しているが、夜間想定訓練に参加できていない。	消防団等、地域の担当者とのかかわりを持ち、非常災害時にどのように連携していくか話を進めていく。 夜勤専門職員が訓練に参加できるようになる。	地域包括支援センターや元自治会役員の方に相談しながら、地域との関わり方が増やせないか動いていく。 夜勤専門職員が参加できる時間帯に訓練を実施する。	12ヶ月
2	2	令和7年9月で自治会が解散したため、地域との関りが更に希薄化している。	地域の介護施設として、少しでも地域住民に周知してもらえるようになる。	秋頃に施設を活用したお祭りを開催し、地域の活性化を図る。 少しでも地域との交流ができないか検討していく。(祭り以外のイベント等)	12ヶ月
3	35	共用部に保管してあるパッド類は外部から見える状態にある。家庭的な環境を整備するための工夫が必要である。	パッド類が外部から見えないような保管方法にする。	3階の保管場所の入り口にカーテンを設置し、外部から見えないようにする。 その他、トイレの上の棚等も、見えないように箱などを準備する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月